

「流域治水の自分事化」について

「流域治水」の推進

気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化に適応していくため、流域のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う、「**流域治水**」へ転換。

① 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

雨水貯留機能の拡大 **集水域**
 [国・市、企業、住民]
 雨水貯留浸透施設の整備、ため池等の治水利用

流水の貯留 **河川区域**
 [国・県・市・利水者]
 治水ダム建設・再生、利水ダム等において貯留水を事前に放流し洪水調節に活用
 [国・県・市]
 土地利用と一体となった遊水機能の向上

持続可能な河道の流下能力の維持・向上
 [国・県・市]
 河床掘削、引堤、砂防堰堤、雨水排水施設等の整備

氾濫水を減らす
 [国・県]
 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化等

② 被害対象を減少させるための対策

リスクの低いエリアへ誘導 / **住まい方の工夫** **氾濫域**
 [国・県・市、企業、住民]
 土地利用規制、誘導、移転促進、不動産取引時の水害リスク情報提供、金融による誘導の検討
浸水範囲を減らす
 [国・県・市]
 二線堤の整備、自然堤防の保全



③ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

土地のリスク情報の充実 **氾濫域**
 [国・県]
 水害リスク情報の空白地帯解消、多段型水害リスク情報を発信

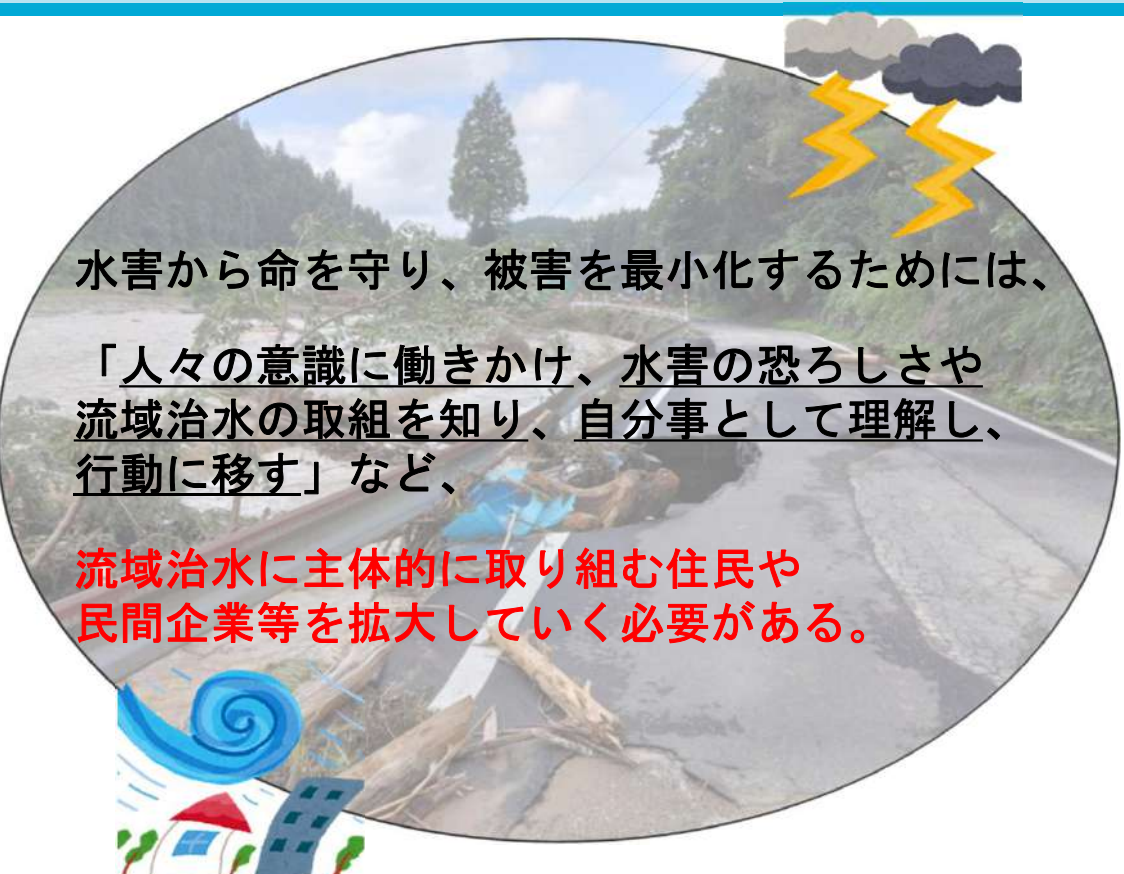
避難体制を強化する
 [国・県・市]
 長期予測の技術開発、リアルタイム浸水・決壊把握

経済被害の最小化
 [企業、住民]
 工場や建築物の浸水対策、BCPの策定

住まい方の工夫
 [企業、住民]
 不動産取引時の水害リスク情報提供、金融商品を通じた浸水対策の促進

被災自治体の支援体制充実
 [国・企業]
 官民連携によるTEC-FORCEの体制強化

氾濫水を早く排除する
 [国・県・市等]
 排水門等の整備、排水強化

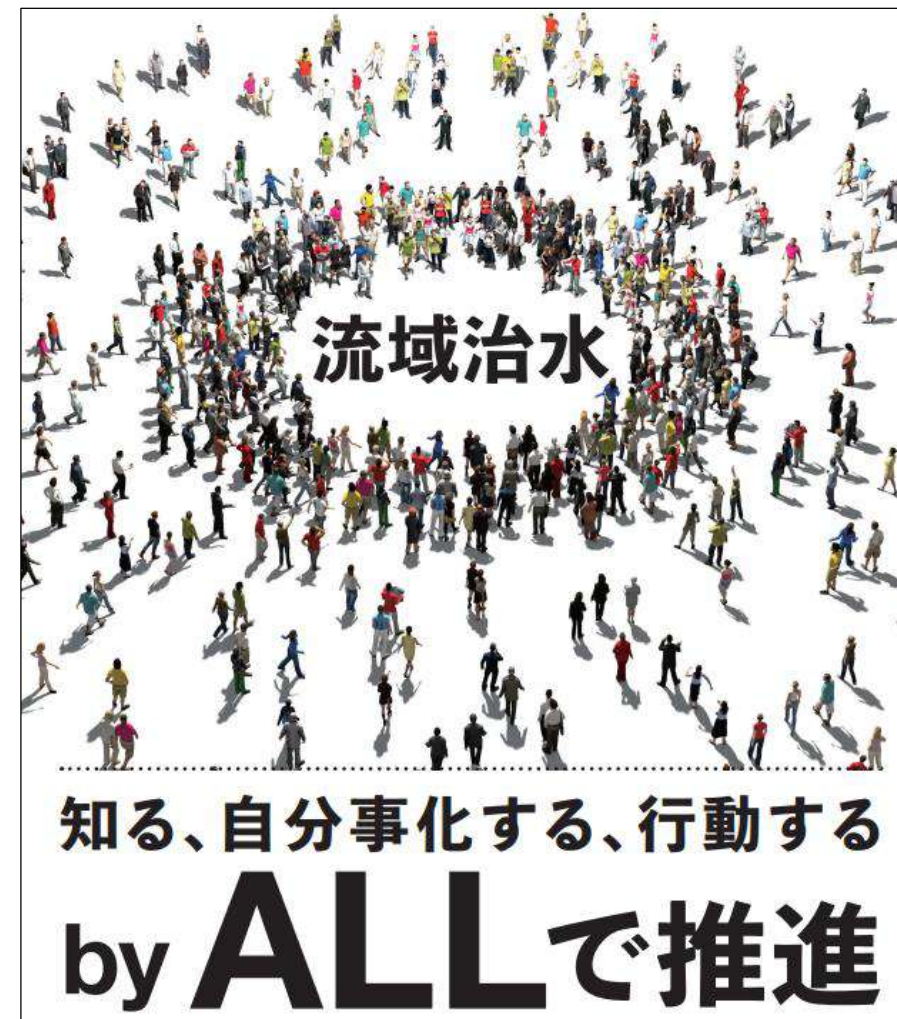


水害から命を守り、被害を最小化するためには、

「人々の意識に働きかけ、水害の恐ろしさや流域治水の取組を知り、自分事として理解し、行動に移す」など、

流域治水に主体的に取り組む住民や民間企業等を拡大していく必要がある。

そこで、各種普及施策の推進状況やその効果等について「**流域治水の自分事化**」としてフォローアップを行い、関係者で共有の上、取組内容について**流域治水プロジェクト**に反映していく。



「流域治水の自分事化」ポイント①

- 水災害について「知る」と「行動」することにはギャップが存在している。これを埋めるためには、自分事として捉え主体的に行動することが必要であり、各自が行動の可能性や有効性を考える素材や機会を提供する施策が必要。

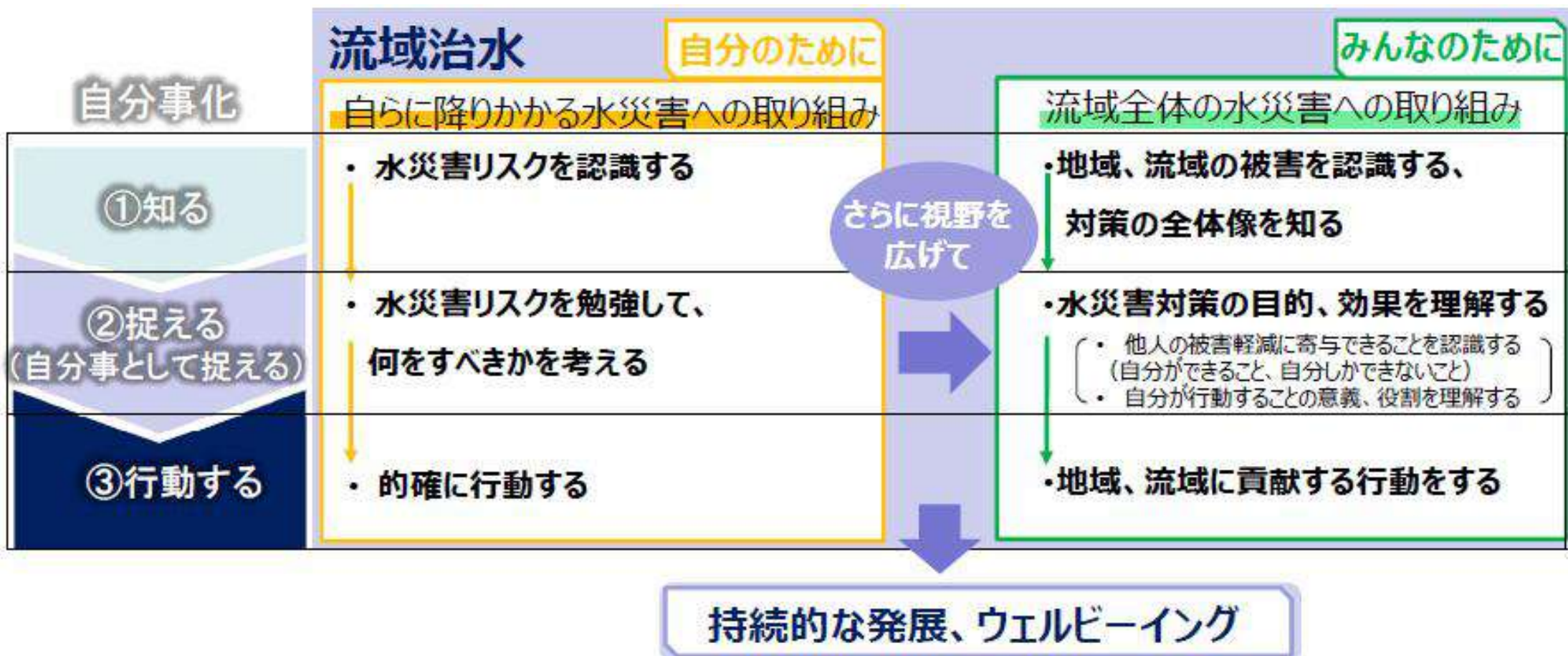


流域治水を推進する上で、自分事と捉えることが課題

「流域治水の自分事化」ポイント②

■自らに降りかかる水災害への取り組みから、さらに視野を広げて、流域全体の水災害への取り組みへと自らの行動を深化させる。

→流域治水に取り組む主体を増やす。

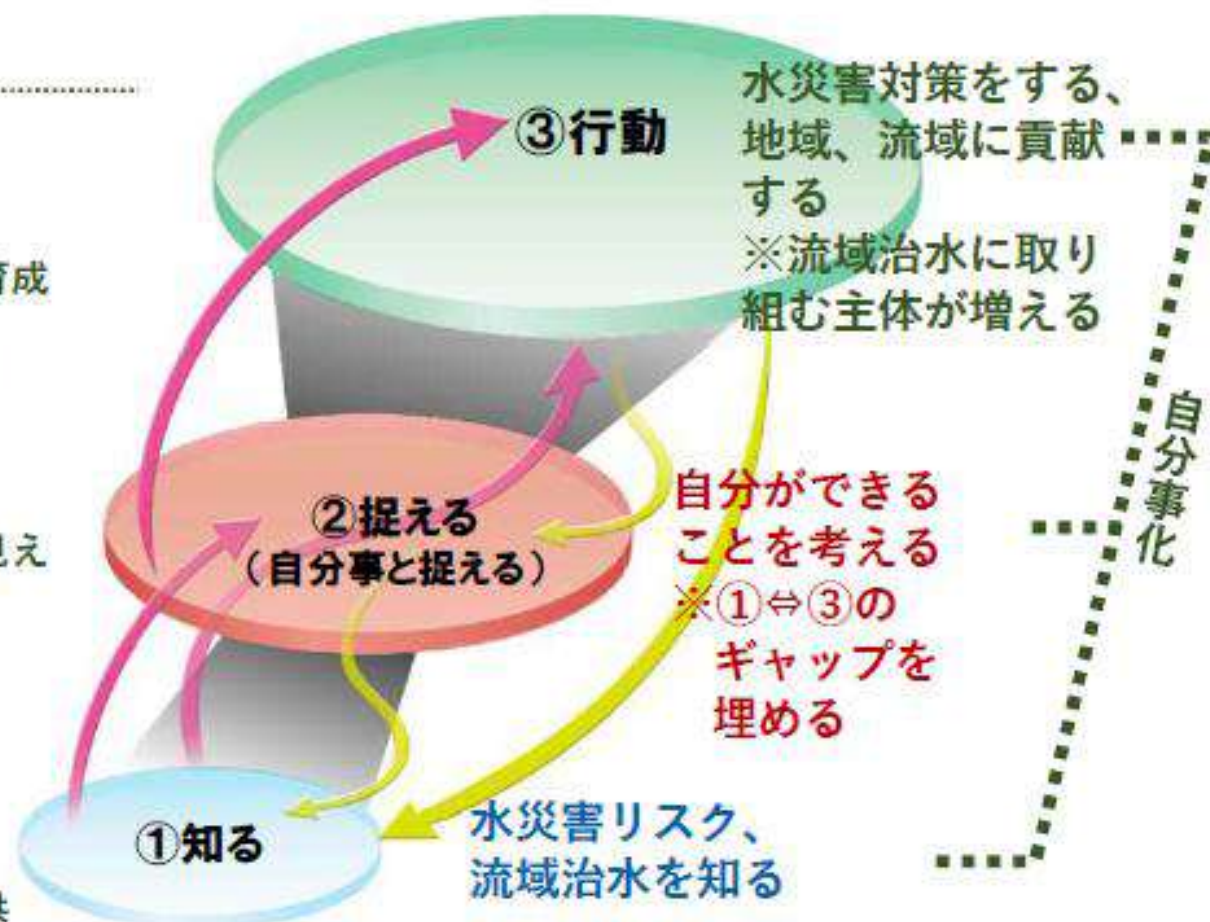


「流域治水の自分事化」の取組方針

大局的には①知る→②捉える（自分事と捉える）→③行動の流れを作り、取り組みの幅を広げ、トップランナー育成や要件化・基準化等を通して流域にも視野を広げていく。

取り組みの例

- ・ 要件化・基準化
- ・ トップランナーの育成
- ・ 流域治水への貢献
- ・ ビジネスへの支援
- ・ 流域対策への支援
- ・ 取り組み、効果の見える化
- ・ 連携活動
- ・ 教育活動
- ・ 流域治水の広報
- ・ リスク情報等の提供



意識の醸成を図り、国民運動、日本の文化に

日々の生活の中で水害、防災のことが意識され、全国的に水災害リスクの自分事化が図られ、その視野が流域に広がり、社会全体が防災減災の質を高めるとともに、持続的に発展していく。

#3

自分事化に向けた取組のフォローアップ

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(千曲川河川事務所)

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 関係機関や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施(411人)
- 報道機関等への情報提供及び連携強化(テレビ放送3回)



教育活動

- マイ・タイムラインづくりの支援(3回)
- 出前講座による防災教育の実施(3回)



訓練活動

- 避難訓練の実施支援
- 避難訓練への地域住民

水防活動の支援

- CCTVカメラ、水位計や量水標等の設置
- 長期的な情報伝達訓練の実施
- 検討及び配備

流域治水の広報

- パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信
- 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布



リスク情報

○リア...

計画策定

- 地区防災計画の作成支援
- 避難確保計画の作成
- 大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画の検討を実施



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人・企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

「流域治水の自分事化」の取組方針

#1 取組計画（事務局作成）

- ・「流域治水の自分事化」としてこれから取り組んでいくための計画。
- ・大規模氾濫減災協議会の取組等を参考に作成。

自分事化に向けた取組計画

●●川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和5年度の取組計画を1/2/3の別に記入（横断可）

①知る機会を増やす
②自分事と捉えることを促す
③行動を誘発する

#2 ロードマップ（事務局作成）

- ・「流域治水の自分事化」の取組の年間ロードマップ。

令和6年度：自分事化に向けた取組のロードマップ

取組み・主対象	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	○水災害、流域治水の広報 地域：個人、企業、団体	広報誌で水害・土砂災害の現状、最新の情報を伝える	メディアと連携して水害・土砂災害の現状、最新の情報を伝える	
②自分事と捉えることを促す	○リスク情報等の提供 地域：個人、企業、団体	危険管理型水位計・監視カメラの設置、増設	中小学校における防災教育、出前授業	住民参加型の避難訓練
③行動を誘発する	○教育活動 地域：個人	防災講話、研究会	ハザードマップの見直しおよび注	要配慮者施設等の避難確保計画の策定
	○訓練活動 地域：個人	ハザードマップの見直しおよび注	地下空間・地区タイムラインの策定	
	○計画策定 地域：個人、企業、団体			
	○水災害対策の支援 個人	市民への土のうの事前記名		
	○水防活動の支援 地域：個人、企業、団体			水防活動拠点整備

自分事化に向けた取組のフォローアップ

参考様式 国土交通省

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会(●●市)

結果報告：具体的取組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

①知る機会を増やす
②自分事と捉えることを促す
③行動を誘発する

#3 フォローアップ（各構成機関毎作成）

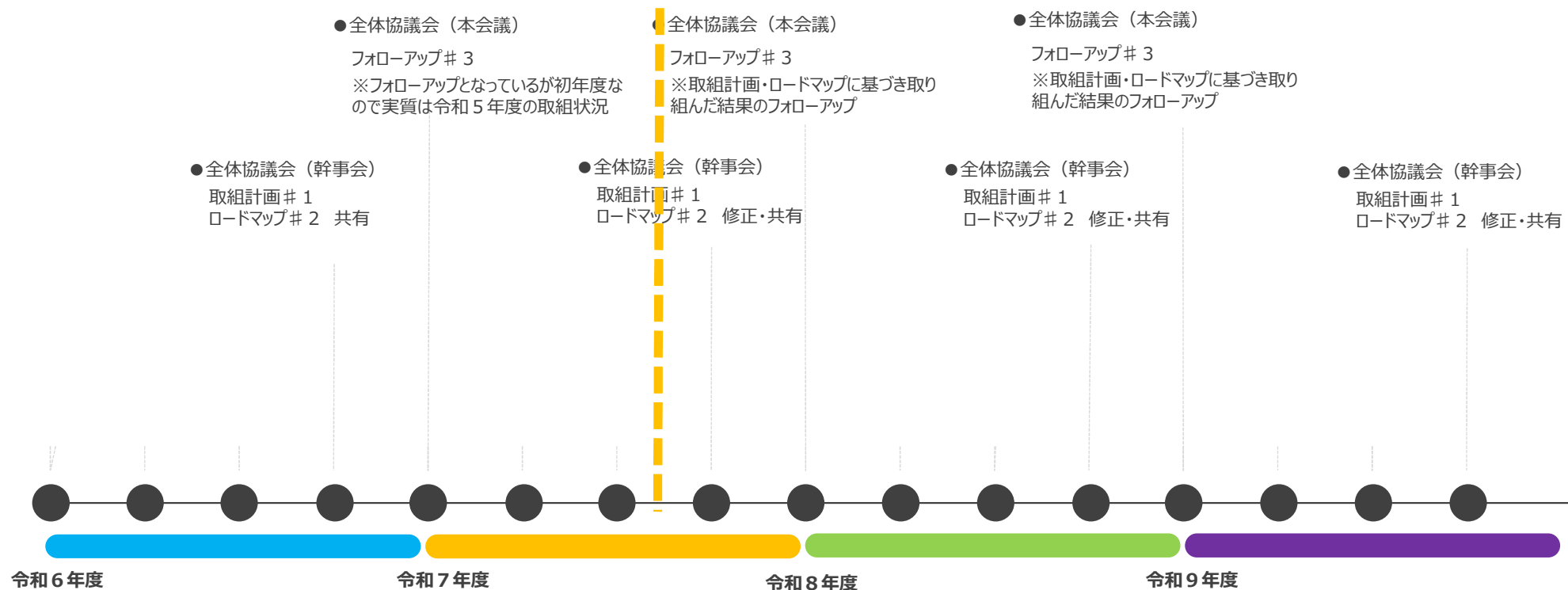
- ・各構成機関毎の取組状況の確認・共有。

#1～3の3つでフォローアップを行っていき
流域治水プロジェクトへ反映していく



「流域治水の自分事化」の取組方針

- ① 全体協議会（幹事会）にて#1 取組計画・#2 ロードマップの共有
- ↓
- ② 全体協議会（本会議）にて#3 フォローアップ
- ↓
- ③ 取組計画・ロードマップに基づき1年間取り組む
- ↓
- ④ 全体協議会（幹事会）にて取組計画・ロードマップの修正・共有
- ↓



千曲川・犀川大規模氾濫に関する減災対策協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 関係機関や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施
- 自主防災組織の推進
- 報道機関等への情報提供及び連携強化
- 地域の防災リーダー育成推進
- 市町村等の取組を支援する専門家の派遣を支援

教育活動

- マイ・防災マップづくりの支援
- マイ・タイムラインづくりの支援
- 出前講座による防災教育の実施
- 地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組推進
- ダムや堤防等の施設についての啓発活動

訓練活動

- 避難訓練の実施支援
- 避難訓練への地域住民の参加促進
- 関係機関が連携した水防実働訓練等を実施

水防活動の支援

- CCTVカメラ、水位計や量水標等の設置
- 水防団等への連絡体制の確認・実践的な情報伝達訓練の実施
- 水防協力団体等の募集・指定を促進
- 新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
- 水防技術講習会を実施
- 大規模災害時の災害対応拠点等配置計画の検討を実施

リスク情報等の提供

- 氾濫シミュレーション結果や地形情報等の提供
- ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実
- 支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知
- リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実
- 浸水被害軽減地区の指定
- 不動産関係者への水害リスク情報の提供
- 水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進
- 住民の避難行動を促す情報伝達手段の強化
- 防災施設の洪水時の操作に関するわかりやすい情報提供の実施
- 公共交通機関との洪水情報の共有
- 大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発活動
- まるごとまちごとハザードマップの推進

流域治水の広報

- パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信
- 効果的な「水防災意識社会」の再構築に役立つ広報や資料を作成・配布
- 地域包括支援センターにハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等の防災関連のパンフレット等を設置

水災害対策の支援

- 立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援
- 民間施設等を活用した緊急的な避難先の確保推進
- 避難誘導マニュアル作成指針を活用した地域版避難誘導マニュアルの作成支援
- 避難時の声かけや避難誘導方法等についての充実
- 要配慮者利用施設の避難における地域との連携を支援
- ダム放流情報を活用した避難体系の確立
- 民間企業や各下水道管理者のBCP策定支援
- 浸水リスクのある防災拠点や災害拠点病院、上下水道等の施設等の浸水被害の防止軽減策の支援
- 関係者が一体となったタイムラインの作成・検討・見直しの実施

計画策定

- 都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域への誘導
- 水害リスク情報を元に土地利用に関わる計画の見直し
- 災害危険区域の適正な指定を促進
- 地区防災計画の作成支援
- 避難確保計画の作成
- 大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画の検討を実施

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

長野圏域 大規模氾濫減災協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 住民等参加による重要水防箇所等の共同点検実施
- 自主防災組織活動支援
- 地区防災計画作成への専門家派遣等の支援
- 信州大学及び長野高専との包括連携協定に基づく共同研究
- OLアラートによる報道機関等への情報提供
- 流域市町村小学校から砂防堰堤等の現地見学会実施
- 自治体関係機関が参加した合同巡視の実施

流域治水の広報

- 広報誌やSNSを利用した過去の災害、水害リスク、流域治水の取組み情報の周知
- 令和元年東日本台風記災害録誌やデジタルアーカイブの活用
- 地域包括支援センターに防災ガイドブック等を設置

教育活動

- マイタイムライン作成のための住民説明会等の実施支援
- 小中学校への防災教育の出前講座実施
- 地域包括支援センター、ケアマネジャーとの連携、情報共有による高齢者避難行動の理解促進
- 小学生等を対象とした河川環境の学習会、生物観察等を実施
- 小学生等を対象とした、水生生物観察等の環境学習会の実施
- 自主防災組織を対象とした防災講習会の実施

リスク情報等の提供

- 不動産業者へのリスク情報の提供
- 浸水想定区域図作成・公表
- 多言語版ハザードマップ作成・配布
- 防災訓練や防災学習、コミュニティタイムラインに水害ハザードマップを活用
- 土砂災害ハザードマップを改定しHPで公表
- ハザードポータルサイト等に浸水想定区域(想定最大規模)等を掲載
- 防災メール等により公共交通機関に浸水リスク情報を発信

訓練活動

- 学校における、洪水、土砂災害を想定した訓練促進
- 住民参加型避難訓練実施
- 関係機関が連携した水防実動訓練実施
- 避難所における避難所開設合同訓練の実施

水防活動の支援

- 水防団、樋門・水門操作員等への連絡体制確認と連携及び情報伝達訓練実施
- 水防活動の担い手確保・募集強化

水災害対策の支援

- 民間施設の応急的な避難場所としての活用を検討、地域と企業等との合意に基づいた協定締結支援
- コミュニティタイムラインの作成及び見直し

計画策定

- 都市計画区域マスタープラン変更
- 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直し検討
- 地域版防災計画、地区防災計画及び避難誘導マニュアル等の作成支援
- 要配慮者施設等の避難確保計画作成支援、説明会等の実施

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

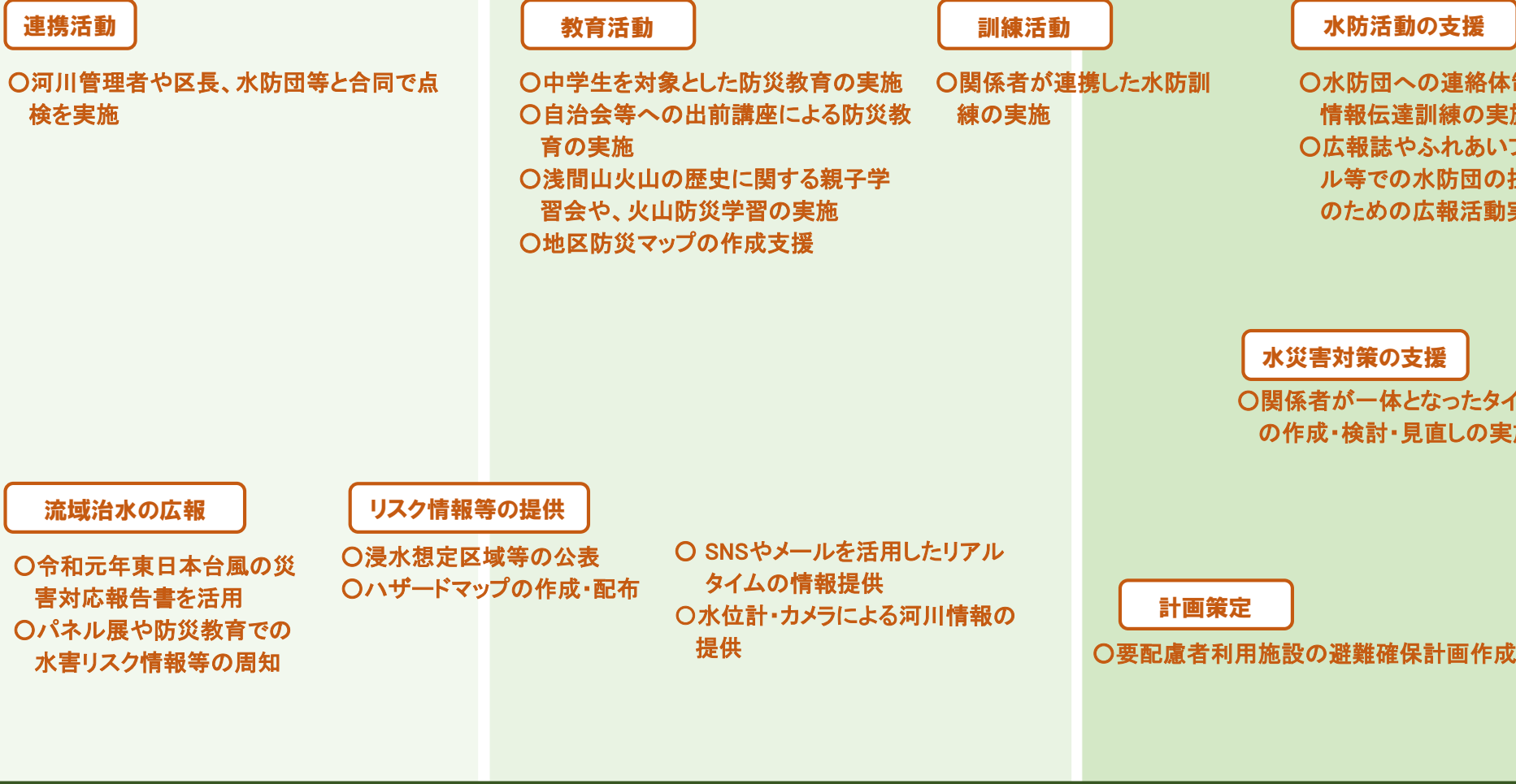
③行動を誘発する

流域治水に取り組む主体が増える
水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

佐久圏域 大規模氾濫減災協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

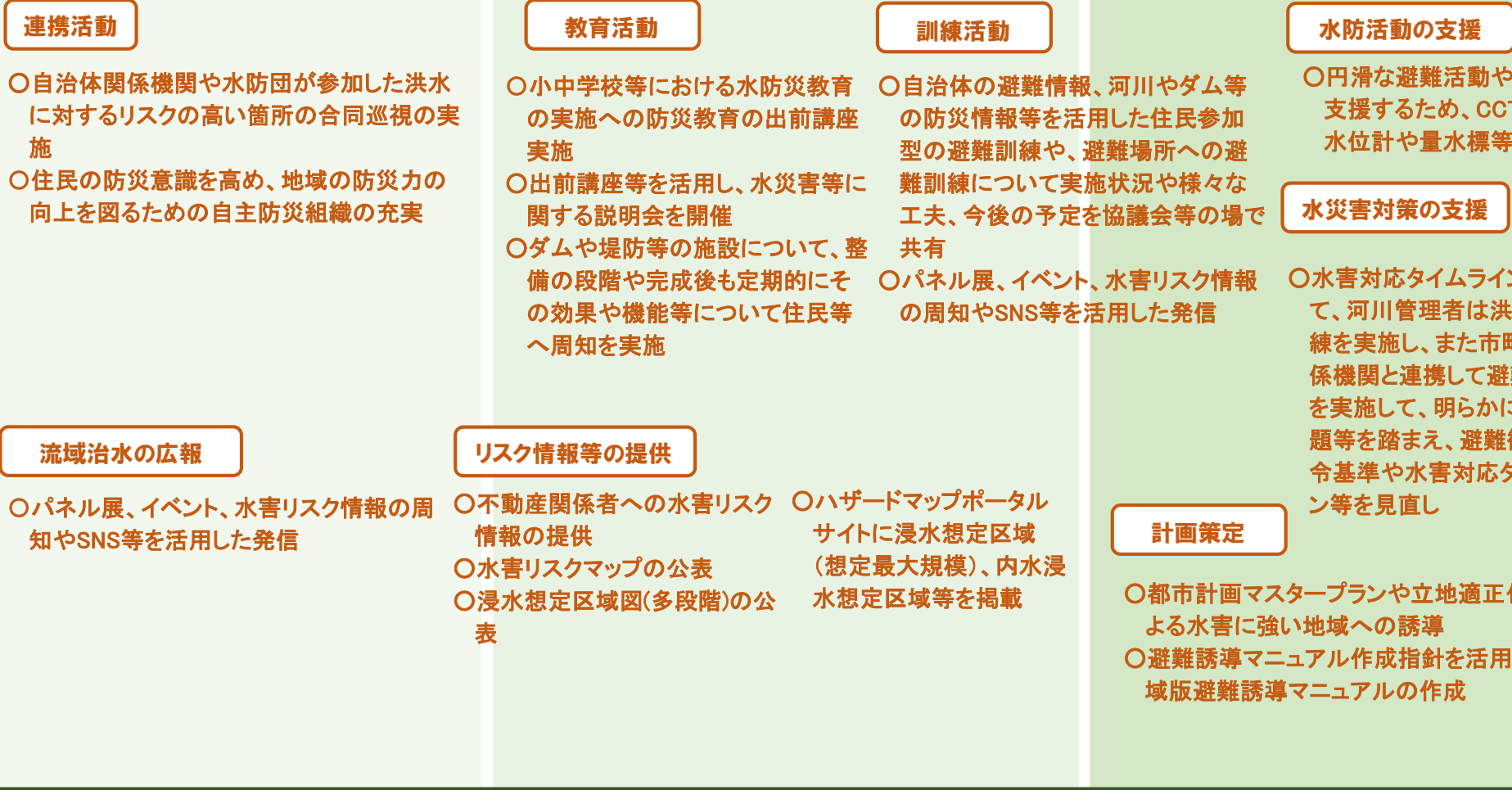
水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

松本圏域 大規模氾濫減災協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

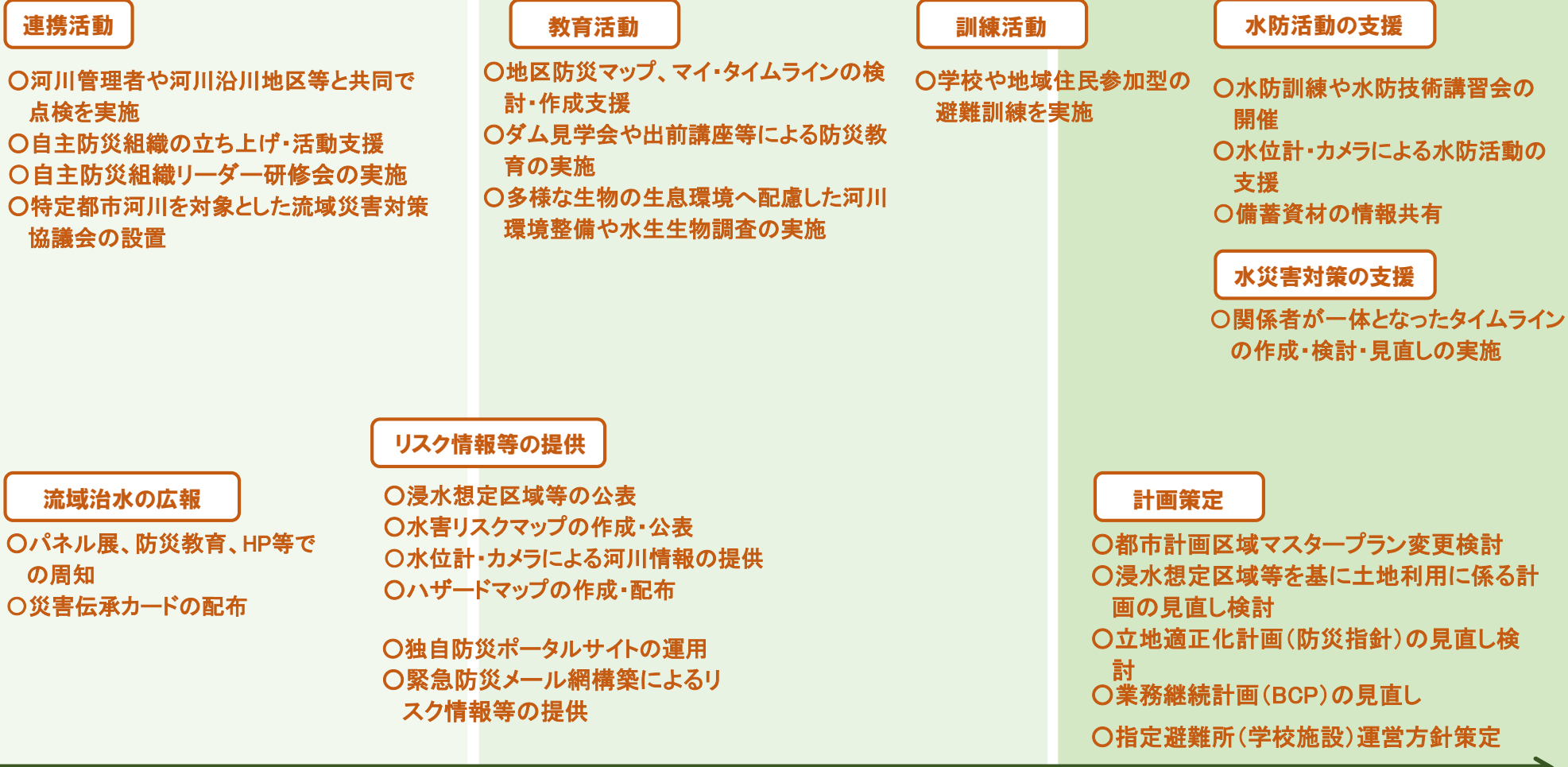
水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

上田圏域 大規模氾濫減災協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

大町圏域 大規模氾濫減災協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 広報誌、イベント、コミュニティー放送等を活用した水防協力団体の募集
- 浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等への情報共有
- 水防活動に関わる関係者で共同点検の実施

教育活動

- 地区防災マップ、ささえあいマップ等の作成支援・検討
- 出前講座等による防災教育の実施
- 福祉関係者向けの研修会の開催

訓練活動

- 学校や地域住民参加型の避難訓練を実施
- タイムラインに基づく実践的な訓練の実施

水防活動の支援

- 水防訓練や水防技術講習会の開催
- 水位計・カメラによる水防活動の支援

水災害対策の支援

- 関係者が一体となったタイムラインの作成・検討・見直しの実施
- 災害拠点となり得る施設、資材、備品等の強化

流域治水の広報

- 水防団員の募集、自主防災組織、企業等の参画を促すための広報
- 災害伝承カードの配付
- パネル展や防災教育での水害リスク情報等の周知

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域等の公表
- ハザードマップの作成・配布
- 水位計・カメラによる河川情報の提供
- 外国人への対応方法を周知

計画策定

- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の支援
- 浸水想定区域内の市町村庁舎や災害拠点病院等の洪水時情報伝達体制構築促進

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

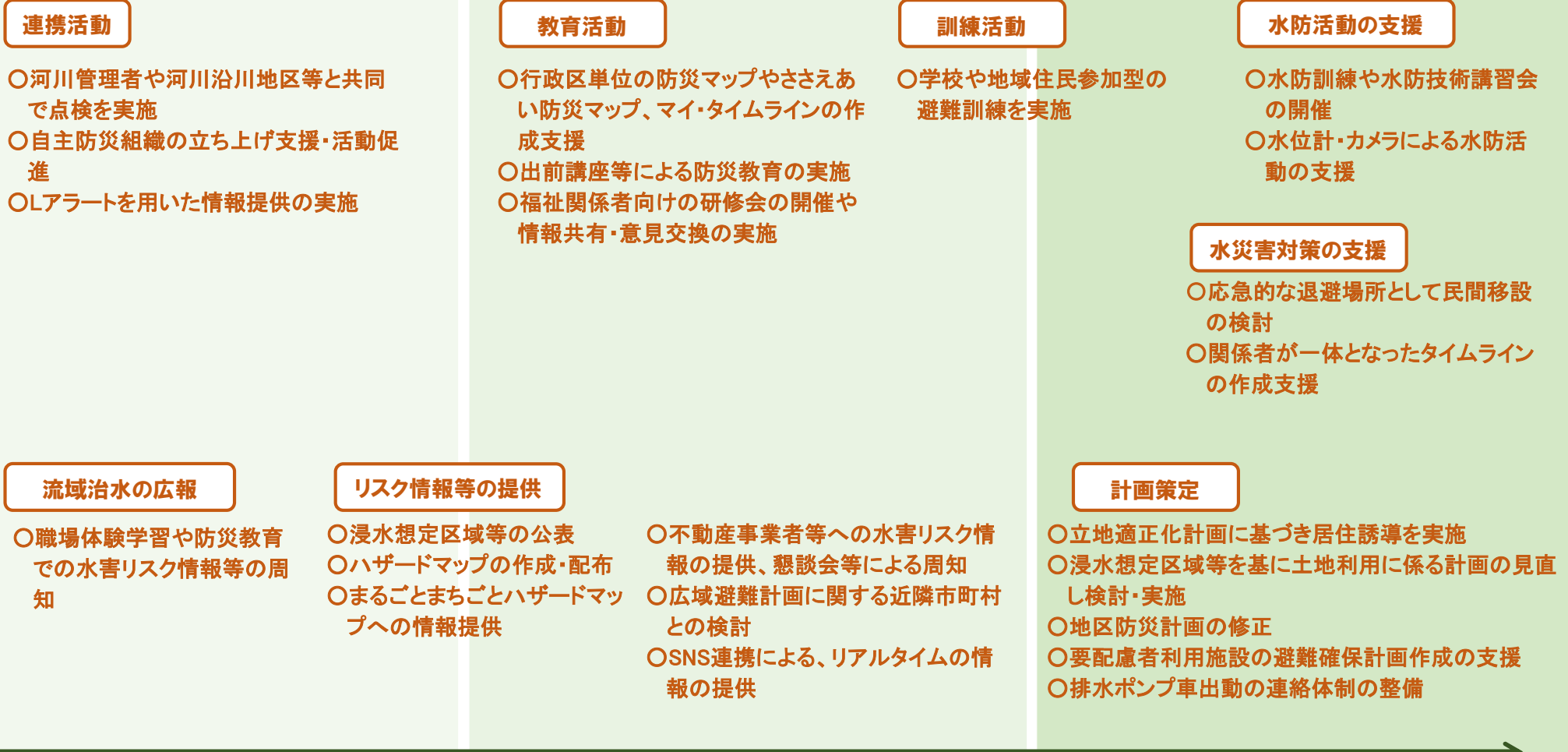
水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

北信圏域 大規模氾濫減災協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)



①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

信濃川水系(信濃川上流)流域治水協議会

計画: 「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- 関係機関や地域住民が参加した洪水に対するリスクの高い箇所の共同点検の実施
- 自主防災組織の支援
- 報道機関等への情報提供及び連携強化
- 地域の防災リーダー育成推進
- 市町村等の取組を支援する専門家の派遣を支援
- 関係機関(高専等)との包括連携協定に基づく防災強化
- Lアラートによる報道機関等への情報提供

教育活動

- マイ・防災マップづくりの支援
- マイ・タイムラインづくりの支援
- 出前講座による防災教育の実施
- 地域包括支援センター・ケアマネジャーと連携した水害からの高齢者の避難行動の理解促進に向けた取組推進
- 専門家による防災講座実施
- ダムや堤防等の施設についての啓発活動
- 小学生等を対象とした河川環境の学習会等を実施
- 地区防災マップやささえあい防災マップ作成支援・検討
- 福祉関係者向けの研修会の開催や情報共有・意見交換の実施

訓練活動

- 避難訓練の実施支援
- 避難訓練への地域住民の参加促進
- 学校における訓練促進
- 関係機関が連携した水防実働訓練等を実施

水防活動の支援

- CCTVカメラ、水位計や量水標等の設置
- 水防団等への連絡体制の確認・実践的な情報伝達訓練の実施
- 水防協力団体等の募集・指定を促進(広報誌やイベント等)
- 新技術を活用した水防資機材の検討及び配備
- 防災拠点となる施設・資機材等の強化・共有
- 水防技術講習会を実施
- 大規模災害時の災害対応拠点等配置計画の検討を実施

リスク情報等の提供

- 浸水想定区域図作成・公表
- 水位周知河川の拡充、洪水浸水想定区域図の作成促進
- ハザードマップ(多言語版等)作成・配布
- 住民の避難行動を促す情報伝達手段の強化
- 防災訓練や防災学習、コミュニティタイムラインに水害ハザードマップを活用
- 防災施設の洪水時の操作に関するわかりやすい情報提供の実施
- 氾濫シミュレーション結果や地形情報等の提供
- 長野県防災情報システム等を活用した公共交通機関との洪水情報の共有
- ハザードマップポータルサイトにおける水害リスク情報の充実
- 大規模工場等への浸水リスクの説明と水害対策等の啓発
- 支川の氾濫に着目したハザードマップ等を作成し、リスク情報を周知
- まるとまちごとハザードマップの推進
- SNSやメール等を活用したリアルタイムの情報提供
- 浸水被害軽減地区の指定
- 不動産関係者への水害リスク情報の提供
- 独自防災ポータルサイトの運用
- 広域避難計画に関する近隣市町村との検討

流域治水の広報

- パネル展、イベント、水害リスク情報の周知やSNS等を活用した発信
- ホームページ・広報誌等による水防災意識社会再構築の啓発
- 地域包括支援センターにハザードマップの掲示や避難訓練のお知らせ等の防災関連のパンフレット等を設置
- 令和元年東日本台風記録誌やデジタルアーカイブ等を活用した広報
- 自主防災組織へ「自主防災活動の手引き」を配布
- 災害伝承カードの配付
- パネル展や防災教育での水害リスク情報等の周知

水災害対策の支援

- 立ち退き避難が必要な区域及び避難方法の検討及び支援
- 民間施設等を活用した緊急的な避難先の確保推進
- 避難誘導マニュアル作成指針を活用した地域版避難誘導マニュアルの作成支援
- 避難時の声かけや避難誘導方法等についての充実
- 要配慮者利用施設の避難における地域との連携を支援
- ダム放流情報を活用した避難体系の確立
- 民間企業や各下水道管理者のBCP策定支援
- 浸水リスクのある防災拠点や災害拠点病院等の施設等の浸水被害の防止軽減策の支援
- 防災活動拠点施設管理者との被害報告に関する連絡体制の構築
- 関係者が一体となったタイムラインの作成・検討・見直しの実施

計画策定

- 都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域への誘導
- 水害リスク情報を元に土地利用に関わる計画の見直し
- 災害危険区域の適正な指定を促進
- 地区防災計画・避難確保計画(要配慮者施設等)の作成・見直しを支援
- 大規模水害を想定した千曲川・犀川排水計画の検討を実施

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	●	● 広報誌やイベント等で 流域治水や水害について広報	●	●
	◎連携活動 地域 個人 企業・団体	● 関係機関や地域住民との共 同点検の実施	●	●	
		報道機関等と連携し防災情報について啓発			
② 自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表、洪水・土砂災害ハザードマップの作成、公表			
		住民の避難行動を促す情報伝達手段の強化			
		リアルタイムの情報提供やプッシュ型情報の発信など防災情報の充実			
	◎教育活動 地域 個人	● マイ・タイムライン 講習会の実施	●	●	●
		● 小中学校における 防災教育、出前授業	●	●	
◎訓練活動 地域 個人	●	●	●	● 住民参加型の避難訓練	
		避難訓練の実施支援			
③ 行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	避難確保計画の作成促進			
		都市計画マスタープランや立地適正化計画による水害に強い地域への誘導			
	◎水災害対策の支援 地域 個人 企業・団体	要配慮者利用施設の避難における地域との連携を支援			
		避難誘導マニュアル作成指針を活用した、地域版避難誘導マニュアルの作成支援			
◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	CCTVカメラ、水位計や量水標等の設置				
	●	水防団等への連絡体制の確認と実践的な情報伝達訓練の実施			